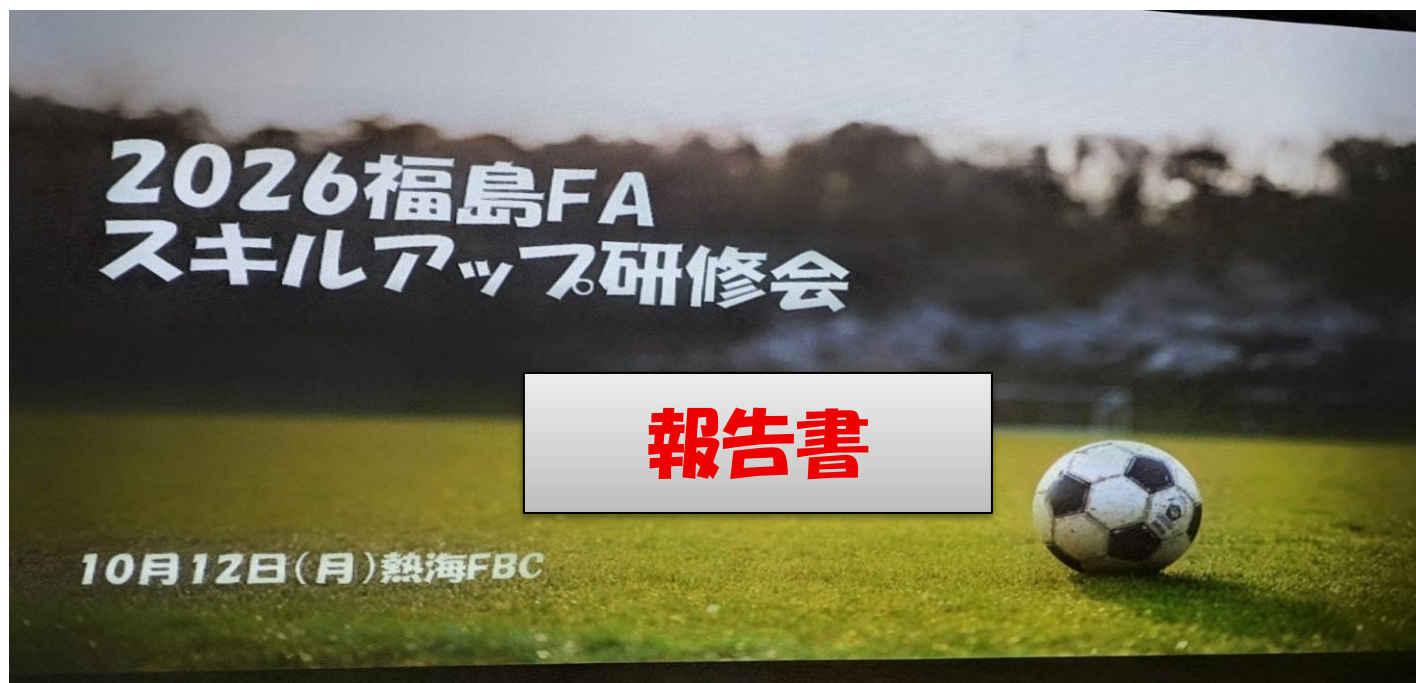




- 1 目的 指導者としての資質向上を目指し、トレセン活動や各チームの指導に従事している指導者及び2027年度以降B及びAライセンスを受講希望する物のサポートの場とする。
- 2 主催 (一財) 福島県サッカー協会
- 3 主管 (一財) 福島県サッカー協会技術委員会、指導部会
- 4 日程

日	時 間	内 容	詳 細
10月12日 (月)	9:00～ 9:30	受付 ガイダンス	
	9:30～10:15	ゲーム分析	U-18年代のゲームを観て分析し、トピックを決める
	10:30～11:30	グループワーク	指導案の作成
	11:45～13:00	指導の実践①	「攻撃」に関する指導の実践
	14:00～15:10	指導の実践②	「守備」に関する指導の実践
	15:20～16:10	指導の実践③	

○ガイダンス：参加者4名

「理想的なコーチとは」 についてのディスカッション。

- ・選手の良さを引き出す、良い変化を与えられる 一人一人を成長させられる
- ・選手の考えを優先する アイデアを引き出し、ともに良い方向に向かっていける。
- ・知識や戦術など全体を理解している。



<チームのコーチとして>

- ・ GAMEに勝つ・導く チームビルディング
- ・ 選手へのタスクを明確にできる マインドへの働きかけ

○ゲーム分析 ➡ グループワーク

尚志高校の選手に参加していただき紅白戦を実施、そのゲームから「攻撃」「守備」のトピックを1つずつ課題として取り上げ、指導案を作成。

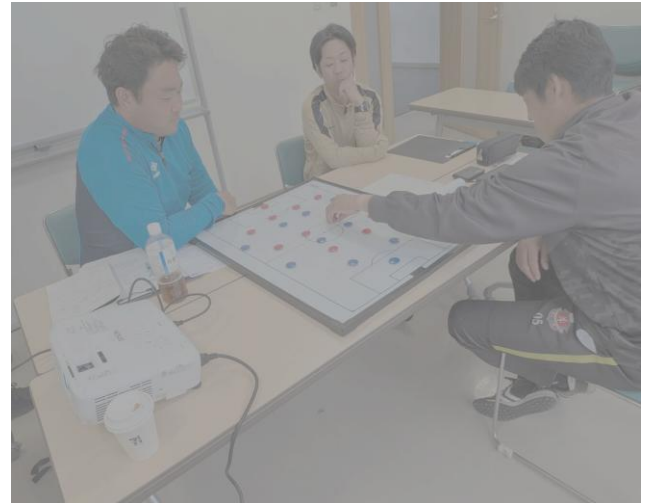
●「攻撃」～サイド攻撃

- ・ アタッキングサードへ進入する際にミスが多く得点がなかったこと、ビルドアップにおいて背後への動きが少なく、ボールを奪われることが多かったため。



安定したビルドアップからサイドを起点に

攻撃を仕掛け、得点する



「守備」～中盤の守備

- ・ FWとSH<サイドハーフ>の連携がなくサイドから中盤に縦パスが入る、中盤での守備の立ち位置が悪く前を向かれたり展開される場面が多かったことが課題。



前線から中盤で圧力を強め、奪って攻撃へ



●指導案の作成

トピックを決め、TR案を作成する。GAMEから逆算したTRを構築してほしいが限られた時間の中で共有するのは難しいが、作戦盤を使って一人一人が意見を出し合いながらまとめていく。

この作業こそが貴重であり、指導者の幅や深さを広めてくれるはずです。

○指導の実践①「サイド攻撃」

W-up: クロスからのシュート ～守備なし、サイドのコンビネーションからクロスシュート

TR-1: 4vs3+サーバー+GK ～攻撃側は2トップ+両サイド+サーバー 守備側は3CB+GK

TR-2: 6vs6+サーバー+GK<ワンウェイ> ～攻撃側は1-4-2でゴールを目指す。 守備側は1-3-3でボールを奪ったらサーバーにパス。

GAME: 11vs11 正規のルール

攻撃の優先順位、サイドでの突破・仕掛け、ゴール前の入り方などを落とし込みTR-2では崩しからの得点がみられた。GAMEではあまり現象がでなかったためオーガナイズを含めた改善が必要とチューターからアドバイスを受けた。TRの積み上げや得点までには至らなかったが全体としてはまとまりのあるTRでした。



○指導の実践②「中盤の守備」

W-up: 対面パス、1vs1 2vs2+2S ~ 1vs1でボールを奪う 2vs2は中締めながらサイドで奪う

TR-1: 6vs5+サーバー<ワンウェイ> ~ GKへの配球からビルドアップをさせない守備、攻撃へ。

TR-2: 9vs8+サーバー<ワンウェイ> ~ TR-1に同じ

GAME: 11vs11 正規のルール

相手の自由を奪い限定しボールを奪う。そのためにどのエリアからアタックしどのエリアで奪うか、明確な基準をもってGAMEには臨めた。その前段階のTRではボールへのアタックが曖昧でオフの選手も人について行ってスペースを空けてしまう場面が多々見受けられた。1st DFへの声掛け、その状況に応じたオフの選手の立ち位置と優先順位、何を守るかの判断までは変えられなかった。難しいトピックではあるが我々コーチが原理原則を理解し、基本戦術を身につけることの必要性を改めて感じた時間でした。

全体終了後、「ゲーム中心のアプローチ」として5vs5+GKのTRを実践しました。「中盤の守備」ですが、ゴールを設置することでのメリット、攻防、運動強度などの違いを感じることができたはずです。TRでアイデアをだすことはとても重要ですが、「サッカー」から離れたり、リアリティに欠けてしまうと選手のモチベーションも低下します。特に「守備」においては顕著です。

トピックにこだわり過ぎず、楽しさを追求しながらTRを構築してほしいです。



○参加者の感想

- ・Bライセンス取得から間が開いていたので学び直しができる良い機会でした。足りないものがわかったような気がします。
- ・実際にゲームを観て分析できたことが良かった。普段は4種なので高校生のスピードや戦術理解に戸惑ったが2回実践ができて参考になった。
- ・オーガナイズの難しさがあったのもっとシンプルなTRで自分の頭を整理して伝えたい。他県から来て学ぶ機会が少ないので機会を増やしてほしい。
- ・課題に対する修正方法やオーガナイズの意図、メリット・デメリットが明確になり実践者同士でも学びを共有しやすくなる一方、積み上げが難しく、TR2・GAMEを行う方ほど難しさを感じるのではないかと思います。

○チューターから

- ・今回初めて「スキルアップ研修会」として開催し、4名の方が参加してくれました。ライセンスは取得が目的ではなく、その後どのようにスキルアップして自分のコーチング力や資質を高めていくかが大切です。そのためには他のチーム、種別での指導、研修会や講習会に参加して経験と知識を深めること。今回参加していただいた方には向上心や情熱を感じ、勇気をもって指導の実践を行ってくれたことに感謝いたします。オープンマインドな姿勢がきっと今後の指導に役立つはずです。来年度からは年間計画として取り入れ、学びの機会を増やしていきます。指導者の質向上と選手のレベルアップを望む皆さんの参加をお待ちしています。
(シニアチューター 佐藤弘八)
- ・少ない人数でどのようにスキルアップするか、初めての研修会ではあったが成果と課題が見られたので今後につなげたい。「攻守の個人戦術」が理解されていないと選手を変えることはできない。指導者が理解し目の前の選手をどのように改善していくか、そのためのTRを構築実践して変化を観察、どんな発問声掛けが効果的で改善できるか、経験値を高めることが大切である。また、そのTRが選手に適しているか、オーガナイズも含めて観る目を研ぎ澄ましてほしい。
(チューター 梅津知己)

**次回開催は11月 1日(日)熱海FBC
見学だけでも可能です。
指導者としての参加も募集します。**